

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (平成28年度第3回)

日時：平成28年11月25日（金）午前10時40分～正午
場所：鳥取県庁 特別会議室（議会棟3階）

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- (1) 第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催結果について（資料1）

4 協議事項

- (1) 第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園への御意見、御感想（資料2）

5 その他

- (1) 今後の日程について（資料3）
- (2) 手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機の設置について（資料4）
- (3) 予算の執行状況について（資料5）

6 閉 会



第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催について

平成28年10月 7日
障がい福祉課

“手話の聖地”鳥取県に全国の高校生が集結し、手話を使ったパフォーマンスの表現力を競い合う「第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」（以下「大会」という。）を下記のとおり開催しました。

記

1 大会の概要

- (1) 開催日時 平成28年9月25日（日）午前9時30分から午後4時30分まで
 (2) 開催場所 倉吉未来中心大ホール（倉吉市駄経寺町212番地5）
 (3) 演技内容 手話を使った歌唱、ダンス、演劇、コントなどのパフォーマンス
 (4) 参加資格 高等学校又は特別支援学校高等部に在籍している生徒
 (5) 司会、ゲストパフォーマー、審査員

内 容	氏名（敬称略）	よみ	役職等
演技司会	早瀬 憲太郎	はやせ けんたろう	学習塾「早瀬道場」代表
	松本 若菜	まつもと わかな	女優・とっとりふるさと大使
総合司会	大木 浩司	おおき こうじ	NHK鳥取放送局アナウンサー
ゲストパフォーマー	岐阜ろう劇団 いぶき		岐阜市を中心にしたろう者による劇団。 昭和57年に結成。
審査員長	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・俳優
審査員	忍足 亜希子	おしだり あきこ	女優
	小中 栄一	こなか えいいち	全日本ろうあ連盟副理事長
	門 英彦	かど ひでひこ	絵かき
	南 瑠霞	みなみ るるか	手話パフォーマー・手話通訳士
	山田 衛生	やまだ もりお	鳥取県合唱連盟理事長

- (6) 来場者数 2,000人
 (7) 大会の観覧 来場自由（入場無料）
 (8) 出場チーム 予選参加申込みのあった61チーム（65校）（30都道府県）のうち、予選審査を通過した20チーム（21校）（13都道府県）の精鋭が大会に出場

[内訳]

北海道1、東京都2、神奈川県1、石川県1、山梨県1、愛知県2、京都府2、大阪府1、奈良県2、鳥取県4、福岡県1、熊本県1、沖縄県1（鳥取県から過去最高の4チームが出場）

- (9) 同時に開催した催し
 ア あいサポート・マルシェ（正面入口前）
 県内の障がい福祉サービス事業所9店舗による飲食物や雑貨等の販売
 イ 鳥取聾学校作品（写真）展（2階会場入口前）
 鳥取聾学校生徒による写真作品の展示コーナー
 ウ 大会公式グッズの販売コーナー（1階アトリウム）
 エ 手話パフォーマンス甲子園紹介コーナー（2階会場入口前）
 大会概要や過去の大会の様子を伝えるパネル展示、過去の映像を紹介する映像コーナー
- (10) サテライト会場
 1階アトリウムに液晶モニターを3台配置し、300席を用意したサテライト会場を設置

表彰式の様子



チーム演技の様子



2 入賞チーム・審査方法

(1) 入賞チーム及び表彰内容

表彰内容	チーム名	贈呈
優勝※	くまもとろう 熊本聾学校 (熊本県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル (金)、優勝旗、 副賞 (東京ディズニーリゾートパスポート+旅行券)
準優勝	まわし 真和志高等学校 (沖縄県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル (銀)、盾、 副賞 (鳥取県特産品)
第3位	奈良県立ろう学校 (奈良県)	表彰状、鳥取砂丘の砂メダル (銅)、 副賞 (鳥取県特産品)
審査員特別賞	みい 三井高等学校 (福岡県)	表彰状、副賞 (鳥取県特産品)

※ 優勝チームには、全日本ろうあ連盟賞及び日本財団賞も併せて授与。

※ 自身の震災体験を力強く表情豊かな手話パフォーマンスで表現し、震災の恐ろしさや復興への思いを会場全体に伝えた。その手話表現力が高く評価され、見事優勝に輝いた。

(2) 審査方法 (6名の審査員の審査得点の合計は最大300点。)

種別	人数	審査項目	配点
ろうの審査員	3名	・手話の正確性・分かりやすさ ・演出力・パフォーマンス度	30点 30点 (合計60点)
聞こえる審査員	3名	・演出力・パフォーマンス度	40点

3 佳子内親王殿下の御臨席

過去の大会に続き、今回も佳子内親王殿下の御臨席を賜った。開会式では、「大会を通じて、聴覚に障がいのある方々と大切な言語である手話に対する理解が一層深まるとともに、素晴らしい思い出となることを願い・・・」などと、おことばを賜った。また、全てのチーム演技を御覧いただいた。

なお、大会前日の交流会にも御臨席賜り、高校生と御歓談いただいた。

おことば



交流会の様子



4 第4回大会の開催

来年秋の開催を見据え、今後、手話パフォーマンス甲子園実行委員会にて検討を行う。なお、よりよい大会を目指して、手話パフォーマンス甲子園の委員や、関係団体、出場チーム等から意見をいただき、次回大会の開催計画に反映させていきたい。

5 その他

- (1) 大会前日の9月24日(土)に鳥取短期大学・鳥取看護大学のシグナスホール内体育館(倉吉市福庭854)で交流会を開催し、大会関係者約300人が参加した。
- (2) 大会当日は、来場できない全国の方々を対象に、大会の様様について公式動画チャンネル(YouTube)でライブ中継を行った。
- (3) 視線をステージに向けたまま情報保障を行うべく、ステージ中央のスクリーンに要約筆記及び手話通訳者の映像を投影させた。また、チーム演技中、セリフや手話に対応した字幕を必ず中央スクリーンに表示させるようルール化し、障がいの有無にかかわらず、チーム演技を楽しむことできるよう情報保障の充実を図った。さらに、視覚障がい者向けに音声ガイドも用意した。
- (4) 昨年の第2回大会のゲストパフォーマーであるハンドサインの楽曲「LIFE STORY」を公式ソングに採用し、主に大会のプロモーションで活用した。
- (5) 大会当日、倉吉駅におもてなしブースを設置し、大会及び会場の案内や観光PRを行った。また、聴覚障がい者向けに遠隔手話通訳サービス、音声文字変換システムのタブレットを配置した。

第3回大会に係る企画推進会議委員の皆様のご意見・ご感想

平成 28 年 1 1 月 2 5 日

企画推進会議（平成28年第3回）

良かった点

【大会全般】

- ①宮様のお成りもあって、各種メディアに取り上げられただけではなく、参加した高校生にとっても特別な大会となった。来年以降も是非開催をお願いしたい。

【来場者】

- ①整理券式は空き席が把握でき、良かった。
- ②会場の座席数やその他のスペースも十分な広さがあり、観客の方もスムーズに着席し、ステージを楽しむことができたと思う。
- ③朝早くから会場にたくさんの方が来ておられました。3回を重ね、コマーシャルやポスターで少しずつみなさんに広まっているように感じます。

【会場】

- ①会場が広くて良かった。
- ②3回目にして 2,000 人規模の会場を押さえることができ、客席にも余裕があったように聞き、規模としては良かった。
- ③会場が大きく、駐車場も昨年より広がったので良かった。
- ④マルシェの周りにゴミ箱が多く配置してあり、落ちているゴミもなくきれいで良かった。
- ⑤会場の設営、スクリーンの配置なども大変よく、見やすく行動しやすかった。

【演技、表彰】

- ①表彰式の時に参加者全員が舞台上上がったのは大変良かった。
- ②パフォーマンスのレベルが高くなり、感動した作品が多かった。
- ③本大会の参加校のパフォーマンスのレベルは年々向上している。
- ④各校様々な工夫がなされていて、レベルが高くなったように感じました。
- ⑤残り時間の掲示が3階からもよく見え、時間を意識しながら見ることができました。

【施設・設備】

- ①大型 LCD パネル（スクリーン）の設置が様々な問題を解決し、観衆が鮮明な映像を視聴できたことで、情報保障が十分に機能したと考える。
- ②スクリーンが LED 方式で良かった。
- ③ステージ上のスクリーンが大きくマルチになっていて、見やすく良かった。
- ④スクリーンも大きくし、一つの画面に演者・通訳・字幕を表示できたのは良かった。
- ⑤救急対応が良かった。
- ⑥ステージの映像が大変素晴らしかった。輝度がはっきりしていた。

【運営等】

- ①計画準備の段階からイベント業者とのコミュニケーションができていて、業者がろう者の視点を大事にする姿勢を一貫したこともが、全体的な成功につながったと思う。
- ②裏方（私たち）にも手話通訳担当者が配置されたことで、常に状況を把握し、必要な行動をとることができた。
- ③担当統括から声掛けが多く相談しやすく、担当業務が快く円滑に遂行できた。
- ④今までと比べて、手話通訳者に対する対応・配慮が良かった。
- ⑤ホテルのスタッフの方の接客対応が非常によかった。
- ⑥昨年のドタバタと比べると準備等ができていて、良かったように思う。

【司会、ゲスト、審査員】

- ①司会の早瀬憲太郎さんのトークも良かった。

【参加高校生】

- ①3階で参加校同士が交流し、仲良くなっている様子を見かけました。参加するだけでなく、全国各地の高校生との交流はありがたい機会だと思います。

【交流会】

- ①鳥取県の料理は美味しかった。
- ②交流会のゲストパフォーマーの時、生徒も集中して見ることができ、良かった。
- ③交流会では、佳子内親王殿下に全ての参加校の代表がお声掛けいただき、一生の宝物となった。
- ④交流会では、手話がよく分からなくても通訳の方がテーブルにいらっしゃったので、会話を楽しむことができました。困ったときには大変助かりました。

改善すべき点、工夫が必要だった点

【来場者】

- ①クイズラリーの参加が少なかった。

【会場】

〔客席〕

- ①ハートフル席の空席が目立った。どのような方が対象か、スタッフ・来場者ともに基準を明確に案内する必要がある。
- ②一部に出入りできない入場口があったが、来場者は分からずに行ったり来たりされた方もいた。来場者は憤慨。必要な情報はステージから全員に対してすることが必要。
- ③（出入り禁止の）西（舞台下手）側出入り口からの来場者が多く、「申し込みしてないけど、誰でも入れるのか？」等の声掛けがあった。出入り口が複数の場合は、来場者の動線を考えた対応が必要。
- ④ホール内の着席状況が分からず、質問に答えられなかった。しかし、担当統括に説明し、その後は適宜情報があり、安心して案内できた。
- ⑤ハートフル席開場予定時間より早く入場があり、ホール入口で待ってもらった。そのため、来賓案内がスムーズにできなかった。開場を早くする場合は関係者へ伝達すべき。
- ⑥皇族がいらっしゃるという関係で、時間帯によっては、3階から自由に移動はできませんでした。また、1階で何が起きているのか、どう進行しているのか分かりづらい生徒たちは、様子を知りたがっていたようです。

〔サテライト会場〕

- ①サテライト会場は、1日ずっと外光が入る場所であったために、スクリーン上の映像が全く見られなかった。
- ②サテライト会場のスクリーンは見にくかった。（多数の御意見あり。）
- ③サテライト会場の小さなスクリーンは映像にタイムラグがあり、「どれも見にくい、左右で映っている内容がずれていて声が合っていない」の参加者の声があった。
- ④（スクリーンに比べ）モニターははっきりと映っていたが、小さくて見えにくかった。

〔手荷物検査〕

- ①エスカレーターの上がり口で荷物チェックが行われていて、エスカレーター上に列ができ危険だったらしい。
- ②手荷物検査が2階の一般来場者の入場口しかなかった。
- ③朝、手荷物検査に行列ができ、誘導はしたものの階段やエスカレーターで混雑が発生し、危険な場面もあった。
- ④朝の開始時は良かったが、時間とともに配置替えがあり、人手不足となった。

〔総合受付〕

- ①同行者席に案内する人か否かの判断が難しかった。区別できる基準が明確に出されていれば良かった。
- ②受付等で手話を見ることができる範囲が限られているため、ホワイトボード等の準備もあった方がよい。（手話ができないスタッフでも案内できる。）
- ③インカムを付けたスタッフが動き回ると、スムーズな連絡が難しかった。

〔展示関係〕

- ①展示が2階にあり、場所がわかりにくかった。案内板や目印を設置しては？
- ②クイズラリーのパネルの場所が一目でわかる地図がプログラムとか、看板や表示があると良かった。
- ③ホール出入り口に「1階席・2階席」の表示があれば、出入りに迷う人は少なくなると思う。

【託児所】

- ①託児の条件が明記されていないため、断られたケースがあった。

【演技、表彰】

- ①演技時間をライトの色別で表示する方法は出演者にも会場にも時間がわかり良い方法だったが、緑と黄色の判別がわかりにくかった。
- ②予選を勝ち抜いてきているので、本大会出場チームの全てに何らかの賞（記念品）を差し上げたいと思いました。是非、御検討ください。

【映像、スクリーン、照明】

- ①スクリーンに出す映像への依存度が高い作品もあった。パフォーマンスにおける映像使用に関する考え方を出すとかの形で「行き過ぎ」に制限をかけることを検討すべきか。
- ②司会や手話通訳の映像撮影に関する技術・手順の確認が必要である。熟練者の助言を受けるべきであるか。

【司会、ゲスト、審査員】

- ①審査員に若い人（30代）を入れるべきではないか。
- ②（ゲスト）アトラクションの時に手話のわからない観客への配慮が必要ではないか。
- ③司会の松本若菜さんの話が少なすぎるように感じた。
- ④ゲストの岐阜ろう劇団いぶきのステージは高校生には内容が合わなかったようだ、1回目、2回目のような高校生が盛り上がるゲストを選んだ方が良いのでは。手話がわからない観客には演劇の内容がわからなかったようだ。

【ボランティア】

- ①ボランティアから、「交代がなく一日立ったままだった」と、不満の声も。
- ②参加の高校生の誘導スタッフで、呼び出しの際、校名の読み間違いが何度もあったらしい。事前調べが必要。
- ③午後担当の手話スタッフ（事前説明会欠席）は、現場到着時間に幅があり、説明を聞くことができなかったようだ。昼食の準備もあったため、集合時間に幅を持たせていたようだが、より具体的に、何時にどこに来て、説明は誰が行うのかということを知らせる必要があったよう。
- ④持ち物管理に困った人もいた。ボランティア経験が少ないと、そういった準備についても明記が必要なようだ。
- ⑤スタッフ数がギリギリで、休憩も取ることができたりできなかったりだった。もっと早い段階で調整してほしかった。
- ⑥手話スタッフにも全体説明をしてほしかった。事前説明会の時に手話スタッフは全体の説明とは別のところで別途に説明があり、配置換えになってもスムーズに対応できなかった。
- ⑦手話スタッフのピブスが分かりにくかった。ピブス背中「手話通訳者」は、壁に背を向けると分からない。前面にも表示があれば良かった。（ホール担当のスタッフはスーツのため、観客は尋ねにくい雰囲気。ピブス姿のスタッフに尋ねられることが多かったように感じた。）

【ライブ配信】

- ①YouTubeでの配信、司会の手話のサイズが小さすぎて、何を話しているのか見えなかった。

【リハーサル】

- ①本大会のリハーサル時間が短いので、不安との声があった。

【交流会】

- ①情報保障の面で、モニターを増やしてはどうか？舞台が低いうえ、また全員起立状態のため、舞台の様子が見えない。
- ②車椅子の高校生もいたため、通路の確保（テーブルの間を広くするなど）を図る必要がある。
- ③料理の並べ方が、一方通行で取る方法だったため、行列になり、交流の時間がとられてしまうため。
- ④テーブルに、学校名がわかる（ミニのぼりなど）を設置してはどうか？
- ⑤実行委員にも名札を用意してはどうか？また、聞こえる人、聞こえない人とわかるものを目印にしてはどうか？（口頭で話しかけられたことがあったため）
- ⑥交流会では、佳子内親王殿下は次々と訪れる参加校の代表者へ対応で休む間もほとんどなく、気の毒であった。
- ⑦交流会の途中で、足が痛そうにされていた方がありました。椅子をお持ちしましょうかと声をかけましたが、遠慮されていました。そういう方には会場の隅の方にもでも椅子を用意しておいて、休憩できるコーナーを作るなり、お知らせしておくなりすると良いかもしれません。
- ⑧情報保障の改善が必要。（モニターの高さとサイズ）
- ⑨体育館のため、通訳者として非常に聞きづらかった。
- ⑩来賓控室をもっと大きくしてほしい。
- ⑪来賓控室の手話通訳者配置がなかった。

その他、ご意見・ご感想

- ①出場校の質は年々、レベルアップしています。また、設営も年々、良くなっています。
ただ、大会後、第3回の様子を早く You Tube にアップしてほしい。出場校が全国各地で、凱旋公演する機会を与えるためにも、当日、来れなかった人や YouTube ライブ中継を見れなかった人にも見ていただきたい。
- ②年々改善されていき、良い大会になったと思う。会場等の環境によって色々と問題は出てくるが、全国的にも周知されてきたので、今後とも頑張って続けてほしい。
- ③今回は役割（長谷川副理事長アテンド）を与えてもらい、良かったです。
- ④手話で会話ができない人でも、表示物を持つなどのボランティアを高校生にお願いしたらいかがでしょうか。そうすれば、手話パフォーマンス甲子園に対して興味を持つ人は増えると思います。
- ⑤手話スタッフに限定するのではなく、多くのボランティアの募集を検討してはいかがでしょうか。
- ⑥佳子様入場の時、一度、アナウンスなしでご入場されました。前の席の方は御入場が分からなかったでしょう。司会と舞台監督との連絡はどのようになっていたのでしょうか。
- ⑦よりよい大会にするため、最後まで尽力いただいた関係の皆様へ感謝申し上げます。来年以降の大会もよろしくお願いいたします。
- ⑧大変素晴らしい大会でした。関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。
- ⑨参加申し込みが増え、だんだんと知られて来ていると感じています。終わってからもテレビで放映され、会場に来られなかった人にも見てもらうチャンスだと思います。本校では、会場ではなくインターネットのライブ中継を見ていたという職員がいました。出場できなかったけど大会を見たい、会場までには行けなかったけど大会を見たいという方たちにインターネットは便利で、いろいろな面でのバリアフリー化の一つだと思いました。
- ⑩出場される高校生は、礼儀が良く元気でなおかつ真剣なので、パワーと元気を頂きました。

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

平成28年11月25日現在

日程	内容	備考
平成28年2月15日	実行委員会開催	第3回大会基本計画、収支予算・決算、実行委員会設置運営要項改正
平成28年2月29日	第4回企画推進会議	第3回大会開催要項、選考方法
平成28年4月	大会チラシ、ポスター送付	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の高等学校、特別支援学校 ・全都道府県 (障がい福祉担当、教育委員会) ・各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体 ・県内各市町村 ・県内公共施設 等
平成28年5月9日	参加申込み受付開始	予選審査動画の提出期限(7月25日)
平成28年6月28日	第1回企画推進会議	実施計画、申込み状況、収支予算・決算
平成28年6月30日	参加申込み期限	
平成28年7月4日	JR山陰主要駅での広告開始	デジタルサイネージ・ポスター掲示 鳥取・倉吉・米子・松江・出雲市駅
平成28年8月9日	予選審査会	鳥取県庁(審査結果発表会) 本大会に出場する20チーム選出
平成28年8月29日	第2回企画推進会議	実施計画、予選審査結果
平成28年9月24日	第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 交流会、リハーサル	リハーサル：倉吉未来中心 交流会：鳥取短期大学・看護大学
平成28年9月25日	第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会	倉吉未来中心大ホール
平成28年11月25日	第3回企画推進会議	第3回大会開催結果の報告、 第3回大会に係る意見交換
平成29年1月下旬 ～2月上旬	実行委員会総会	第3回大会開催結果・総括、 第4回大会基本計画、補正予算
平成29年2月下旬	第4回企画推進会議	第4回大会開催要項、予選審査実施要領

【第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園について】

- 開催時期 平成29年9～10月(1日間)(大会前日に交流会及びリハーサルを実施)
- 開催場所 鳥取県内(東部地区か?)

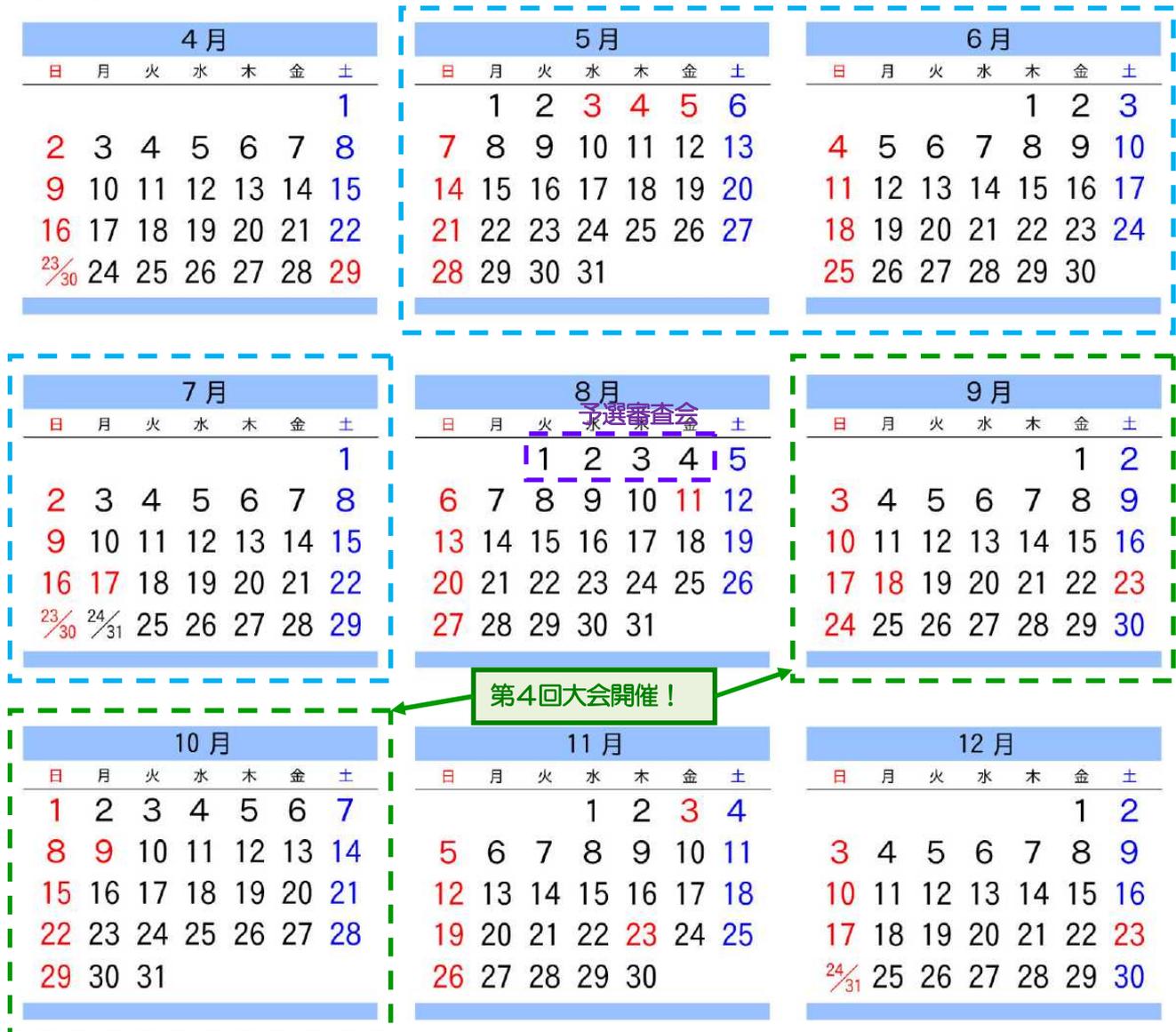
※ 第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催及び日程については、来年1～2月に開催を予定している手話パフォーマンス甲子園実行委員会総会にて決定する見込み。

【第4回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係るスケジュール】

日程	内容	備考
平成29年1月下旬 ～2月上旬	実行委員会総会	※大会の開催及び日程を決定 (大会基本計画)
平成29年2月下旬	第4回企画推進会議	※大会の詳細を決定 (大会開催要綱)
平成29年5月	参加申込み受付開始	
平成28年7月	参加申込み締め切り	※参加申込みと予選審査動画の提出を分ける。
平成28年8月	予選審査会	※開催は2日間を予定
平成28年9～10月	第4回大会の開催	※前日 → 交流会、リハーサル ※当日 → 第4回大会

[参考] 2017年カレンダー

申込み受付・動画提出期間



手話パフォーマンス甲子園応援自動販売機の設置について

「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の開催に向けた活動を応援する自動販売機（以下「応援自販機」という。）について、今年度の1月に東部聴覚障がい者センターが入居する鳥取市文化センター（鳥取市吉方温泉3-701）に初めて設置しましたが、この度、関係団体の協力をいただき、第2号機を10月31日に設置し、第3号機を来週設置することとしています。近くにお立ち寄りの際は、是非、応援自販機を御利用ください。

記

1 設置について

	第2号機	第3号機
設置施設 (住所)	境港市保健相談センター (境港市上道町3000番地)	鳥取県聴覚障害者協会 (米子市旗ヶ崎6-19-48)
設置場所	正面入口側 (外側)	正面入口側 (外側)
稼働日	平成28年10月31日	平成28年11月28日 (予定)
写真		

2 応援自販機について

(1) 手話パフォーマンス甲子園応援自販機の概要

以下の効果を期待するもの。

ア 大会のPR

自動販売機が広告塔となり、大会をPRすることができる。

イ 活動支援金

自動販売機の売上金の一部（最大20%）が大会の活動支援金として、手話パフォーマンス甲子園実行委員会の収入となる。
(大会への募金箱となるもの。)

(2) 設置に協力いただける企業等の募集

(1)の効果を高めるため、今後に向けて、より多くの自動販売機の設置を実現したいと考えています。活動に御理解くださり、自動販売機の設置に御協力いただける企業・団体・個人の皆様に募集していますので、是非、幅広くお声掛けいただけますと、大変幸いです。

応援自販機のデザイン



平成28年度 手話パフォーマンス甲子園実行委員会収予算執行状況

(1) 収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算見込み額	備考
助成金	31,230,000	31,230,000	・日本財団助成金
負担金	13,824,000	13,824,000	・鳥取県負担金
協賛金	1,500,000	1,200,000	・協賛金
手数料	72,000	120,000	・応援自動販売機手数料
雑入	120,000	120,000	・寄付金 ・預金利息
前年度繰越金	550,198	550,198	・前年度(H27年度)からの繰越額
計	47,296,198	47,044,198	

(2) 支出の部

(単位：円)

科目	予算額	決算見込み額	備考
実行委員会運営費	698,000	698,000	・実行委員会開催経費 (旅費、会場使用料、通訳、飲料代等) ・実行委員会の運営経費 等
広報宣伝費	4,500,000	4,500,000	・チラシ、ポスター印刷費 ・広告費 ・テレビ番組制作費 等
大会開催費	13,478,198	13,226,198	・予選審査会開催経費 ・参加チーム助成金 ・大会開催経費 (旅費、会場使用料、通訳、飲料代等) ・交流会開催経費 ・関係機関との連絡調整費 等
大会運営委託費	28,620,000	28,620,000	・大会企画運営委託業務 ・委託業者選定審査会開催経費 等
計	47,296,198	47,044,198	

手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿
(平成28年度第3回)

役 職	所属 ・ 役職名	氏名 (敬称略)	出 欠 (代理：敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長	藪田 千登世	出
委 員	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事	杉本 新二	欠
	鳥取県教育委員会事務局 教育次長	寺谷 英則	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	依藤 典篤	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	山内 晃	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	出
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春	出
	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
事務局	障がい福祉課長	小林 真司	/
	障がい福祉課社会参加推進室 室長	明場 達朗	
	障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐	岡村 弘美	
	障がい福祉課社会参加推進室 係長	安永 孝文	